

植物保護学特論演習 I (2単位)

担当者氏名 根岸寛光・篠原弘亮

◆学習・教育目標

植物保護学特論 II と一体の科目であり、これまでの学部の諸講義・実験・演習や卒論研究で得られたことを一層深化させ、修士論文研究課題に関係するこれまでの内外研究成果蓄積を整理して、独創的な研究展開に役立てると共に、読解力・文章力・発表力を磨く。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

病原学 発生生態 診断技術 防除技術
病原微生物と植物の相互反応

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	植物病理学研究の現状 (1～3週)	植物病理学に関する最新の話題、技術、研究成果等の情報を取得する	
2	研究のあり方、進め方、論文の書き方(第4～8週)	研究のあり方、進め方や論文の作成法について基礎的な事柄を学ぶ	
3	論文解題法(第9～13週)	研究課題にかかわる論文購読	
4	学会発表(第14～15週)	学会発表準備及び口頭発表	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

Plant Pathology 5th ed./Agrious, G.N./Elsevier Academic Press (2005)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

植物病理学/大木 理/東京化学同人 (2005)

植物病理学/眞山滋志・難波成任編/文英堂 (2010)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

積極的なゼミへの参加と学会発表成果で評価する

◆その他受講上の注意事項

学内外で開催される日本植物病理学会 EBC 研究会ワークショップ, 日本農薬学会農薬生物活性研究会シンポジウム, 日本植物防疫協会シンポジウム, 報農会シンポジウムなど, 植物病理学に関係する学術集会等への参加およびその内容に関するレポートを義務づけることがある。